



市内どこからでも通える小規模特認校

えがお

真名子小だより

2月号

平成27年2月16日

発行者 島田 芳行



【6年生の卒業奉仕作業】

厳しい冷え込みがあるにもかかわらず、立春を過ぎた頃から、陽射しは日一日と暖かさを増し、春が確実に近づいていると感じます。

3学期も半ばを過ぎ、6年生による卒業奉仕作業もスタートしました。昼休みなどを利用して、6年間お世話になった教室の窓ふきやベランダ掃除などに積極的に取り組んでおり、下級生のよいお手本になっています。

さて、2月の校長講話では、お釈迦様の弟子で、「掃除」を通して修業に専念し、悟りを開いた周利槃特（しゅりはんどく）の話をしました。本校では2学期から黙って掃除を行う「無言清掃」に取り組んでいます。そこで、改めて「無言清掃」の意味を理解し、掃除を通して自分の心を磨き、社会の役に立つ人になって欲しいと思い、話をしました。少ない人数でも校舎の中がますますきれいになっていくことを期待したいと思います。

何事も、ただやればよいということではありません。子どもたちには、いつも「ねらいは何か」「どのようにやるのか」「どんな力が身に付くとよいのか」を意識させることが大切だと思っています。ご家庭では、ただ「○○しなさい」と言うだけで、やらなければついつい叱ってしまうということはありませんか。お互い、子どもたちとのコミュニケーションを大切にし、よりよい育ちを支援していきたいものです。3学期も残すところ、後1ヶ月余り、どうぞよろしくお祈りします。

真名子小の心をみがく「無言清掃」

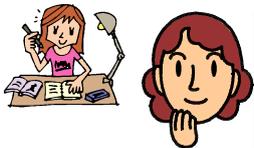


- がまんする心…心の強い人に (おしゃべりをしない、時間いっぱい働く)
- 気配りの心…思いやりのある人に (自分から見つけて働く、助け合う)
- 感謝の心…信頼される人に (心をこめて働く)

家庭との連携で効果倍増！ ～改めて保護者の皆様のご協力に感謝～

3学期がスタートしてから3つの強調週間がありました。保護者の皆様には、子どもたちの家庭での取組状況をチェックし、最後には温かなコメントまで書いてくださり、ありがとうございました。子どもたちにとって、保護者の皆様の応援はとてうれしかったようです。いつも以上に頑張っていました。家庭との連携の重要性を再認識した強調週間でした。

◇学力テストに向けて家庭学習に力を入れる学習強調週間(1/13~1/16)



<5年児童の「家庭学習の記録」の保護者のコメント>

・毎日、自ら課題を決めて取り組めたのはとても素晴らしいです。これからも60分以上目指して、自分の進め方で頑張りましょう。よくがんばりました。

◇給食を通して食の大切さを学ぶ給食週間(1/19~1/23)



給食週間には、作文やポスター、標語などを募集し、栄養のバランスを考えた食事の大切さについて学びました。また、給食集会では、正しい箸の持ち方を身に付けるために豆つかみ競争をしました。全校児童では右のような結果になりましたが、どの子も箸の持ち方が上手になってきたように思います。

豆つかみ競争(1分間)

1位	中村奈那さん	45こ
2位	阿部夏樹さん	42こ
3位	田口暁子さん	38こ
4位	下妻美羽さん	37こ
4位	中村妃南さん	37こ

◇インフルエンザ予防のための「早寝・早起き・朝ご飯」健康がんばり週間(2/2~2/8)



<1年児童の「健康がんばりカード」の保護者のコメント>

・決められた時間をちゃんと守っていたね。朝ご飯もがんばっていっぱい食べられるようになってお母さんはうれしかったです。

平成26年度の学校評価の結果です！

今年度の本校の教育活動の学校評価については、大変お世話になりました。評価項目は、昨年度と比較するために同じ項目です。結果は以下の通りです。
 (「よく当てはまる」「やや当てはまる」の合計の割合)

評価項目	保護者		児童
	H25	H26	H26
1 きめ細かな指導により、基礎基本を確実に身に付けている	95%	98%	96%
2 分かりやすい授業により、学習内容をよく理解している	95	95	98
3 進んで読書をしている	74	68	81
4 家庭学習は(学年×10+10分)を毎日行っている	74	73	91
5 あいさつがよくできている	95	95	96
6 時と場に応じた言葉づかいができている	100	100	91
7 相手の立場を考え、思いやりのある言動がとれる	95	98	96
8 誰とでも仲よく遊んでいる	95	98	96
9 心の目を効果的に活用し、家族間のコミュニケーションが充実している	90	82	91
10 学習発表会や運動会等の学校行事の中で、互いに認め合い励まし合う活動ができている	100	100	96
11 食育(食物アレルギーへの対応や栄養指導)に積極的に取り組んでいる	90	95	98
12 歯の健康や生活習慣病の予防に努めている	97	100	100
13 校舎の清掃がきちんと行われている	97	100	96
14 花壇や校庭の環境整備が計画的に行われている	97	100	96
15 農園活動により、働く喜びを味わう活動が行われている	100	100	94
16 子どもは楽しく学校に行っている	100	100	98
17 小規模校のよさを生かした教育が行われている	97	95	
18 ふるさを大切に思いふるさを誇りに思う教育が行われている	100	100	98
19 学校だよりや学年だより、ホームページ等で積極的に情報を発信している	97	98	
20 避難訓練や登下校の指導を通して、児童の安全確保に努めている	100	98	100

ここでは、保護者についてのみ昨年度と比較してみました。ほぼすべての項目で概ね満足できる状況との評価をいただいたことは、私たち教職員にとっても大きな励みになります。ただ、家庭学習や読書については、さらに工夫した指導を行っていく必要を感じました。

また、この結果については学校評議員やPTA代表等による学校評価委員会で協議し、主に次のような意見をいただきました。



【学校評価委員会】

- ・小規模特認校としてのアピールができた。すごく変わったと思う。運動会や学習発表会等の行事も感動的だった。
- ・少人数だと経験できないものもある。他校との合同授業や交流等は子どもたちのためになると思う。考えてみてはどうか。
- ・表現力が足りないと感じる。思ったことが言えない、書けない様子が我が子にも見える。家庭の教育も大切である。
- ・真名子小は、様々な取り組みをされていてすばらしい。今の子どもは幸せで、自分ももう一度子ども時代に戻りたい。
- ・先生たちのまとまりを感じる。地域の行事にも参加してくれる。

学校評価委員会でも高い評価だった地域ボランティアの活躍(1~2月)



【2/1の資源ゴミ回収】

子どものいない地域は地区のボランティアが活躍



【2/6の総合学習で地域の先生】

中村良一様から真名子の地名の由来や真名子城のことを学ぶ



【2/12の算数・そろばんの学習】

そろばん塾の塩沢先生がボランティアで分かりやすく指導

保護者と地域の皆様の協働で、真名子小の教育がますます充実しています。ありがとうございます！